

高齢者の「買い物の足」に

関市社協広見支部が送迎支援
自宅からバローまで無料



サービスを運営するボランティアら＝関市
緑ヶ丘、バロー関緑ヶ丘店

「買い物の足」を持たない高齢者を支援しようと、関市社会福祉協議会広見支部は28日から、主に広見地域に住む75歳以上を対象に月に1日、自宅からバロー関緑ヶ丘店(同市緑ヶ丘)への送迎サービスを無料で

始めた。同協議会が移動支援を行うのは初めて。同支部が2023年12月に地区内に住む20歳以上を対象に行ったアンケートでは約150件の回答が寄せられ、6人に1人が「日常的に運転しない」と回答。

61%が「移動支援サービスがあれば利用したい」と答えた。

サービスは、地区内の住民8人がボランティアとして運転や補助を行い、市が業務委託している一般社団法人マルゼン総合福祉サービスの車両を使用する。希望者は自治会長や福祉委員、民生委員に相談して申し込む。毎月第4金曜日の午前と午後の2回実施し、定員は各5人。

同支部事務局長の紅谷雅道さん(75)によると、地区内には市営のデマンドタクシー乗り場が数カ所あるが、乗り場から家までが遠いという声や、タクシーも短距離の移動では利用しにくいという声も出ているという。

紅谷さんは「高齢者がより気楽に利用できる方法を検討しながら、継続していきたい」と話した。

(榊原あやな)